

【道路橋点検必携（令和6年版）～橋梁点検に関する参考資料～】

【B6判 719頁 本体価格 3,500円】

平成27年4月6日初版第1刷発行

令和7年2月20日改訂版第1刷発行

《目次》

1.はじめに	1
1.1 用語集	4
1.2 橋の性能の評価に関連する用語等	8
2.関連法規と点検体系	19
3.橋の種類や諸元	23
3.1 橋の種類	25
3.1.1 橋の構成	25
3.1.2 橋の形式	26
3.1.3 床版の形式	38
3.2 橋の構造と部材の種類	40
3.2.1 継手	40
3.2.2 上下部接続部	63
3.2.3 下部構造	67
3.2.4 伸縮装置	76
3.2.5 排水装置	78
3.2.6 落橋防止システム	79
3.2.7 鋼橋の防食	82
3.2.8 その他の防食	109
3.2.9 床版防水工	110
3.2.10 付属物等	114
3.3 橋の情報	121
4.状態の把握	123
4.1 点検計画と点検道具	125
4.1.1 点検計画	125
4.1.2 点検で使用する主な道具	137
4.1.3 持ち物と使い方	139
4.2 近接の方法	141
4.3 目視、打音、触診、その他調査の方法	145
4.4 オルソモザイク画像の生成と保存	177
4.5 画像等で状態を把握する際の留意点	184
4.6 安全対策	189
4.6.1 橋梁点検を実施する上での安全対策	189
4.6.2 ワイヤロープの点検と廃棄基準	191
4.6.3 酸素欠乏症等防止規則	194
4.6.4 騒音対策	195
4.6.5 足場	197
4.6.6 墜落制止用器具	199
4.6.7 クレーン作業	201
4.6.8 無人航空機	202
5.記録方法	205
5.1 写真の撮り方	207
5.2 部材番号の付け方	215
5.3 損傷図の書き方	217
6.資料集	223
6.1 損傷部位と損傷事例写真集	224
6.1.1 部位毎の損傷事例	224
6.1.2 損傷種類毎の事例	265
6.1.3 引張材を有する道路橋の損傷事例	357
6.1.4 第三者被害につながる損傷事例	396
6.1.5 塗装の欠陥および劣化	404
6.1.6 溶接の欠陥	410
6.1.7 鋼部材の疲労損傷	411
6.1.8 めっきの劣化	423
6.1.9 異種金属間接触腐食	424
6.1.10 コンクリート部材のひびわれ	425

6.2 補修・補強事例写真集	437
6.2.1 上部構造の事例	442
6.2.2 下部構造の事例	455
6.2.3 上下部接続部の事例	460
6.2.4 その他の事例	461
6.2.5 補修・補強材の劣化事例	462
6.3 基準の変遷	476
6.3.1 設計基準の変遷	476
6.3.2 塩害・かぶりの変遷と塩害地域区分	483
6.4 構造の変遷	485
6.4.1 鋼橋の変遷	485
6.4.2 コンクリート橋の変遷	492
6.5 施工技術の変遷	505
6.6 規格集	507
6.6.1 鋼材の規格	507
6.6.2 継手種類と疲労強度等級	511
6.6.3 主な出来形管理基準値	520
6.6.4 道路の幾何構造	539
6.6.5 基本水準面	546
6.7 度量衡換算表	547
7. 参考資料	551
7.1 道路橋定期点検要領（技術的助言）（令和6年3月）	553
7.2 道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準） （令和6年3月）	555
7.3 基礎データ収集要領（道路橋）令和6年版	567
7.4 道路橋定期点検要領（平成31年2月）	632
7.5 道路橋定期点検要領（平成26年6月）	641
7.6 道路橋の災害時緊急点検・応急復旧の手引き（案） （平成24年2月）	651
参考文献	707
索引	709